

(様式6)

[認知症対応型共同生活介護用]

## 1. 第三者評価結果概要表

作成日 平成20年8月6日

### 【評価実施概要】

|       |                                      |       |             |
|-------|--------------------------------------|-------|-------------|
| 事業所番号 | 2871200438                           |       |             |
| 法人名   | 有限会社 シンセイケア                          |       |             |
| 事業所名  | グループホーム三輪                            |       |             |
| 所在地   | 兵庫県三田市三輪2丁目13-16<br>(電話)079-553-8820 |       |             |
| 評価機関名 | 株式会社H.R.コーポレーション                     |       |             |
| 所在地   | 兵庫県西宮市甲陽園本庄町6番8-102号                 |       |             |
| 訪問調査日 | 平成20年6月27日                           | 評価確定日 | 平成20年10月22日 |

【情報提供票より】 (20年6月1日事業所記入)

### (1) 組織概要

|       |             |                    |     |
|-------|-------------|--------------------|-----|
| 開設年月日 | 平成15年12月15日 |                    |     |
| ユニット数 | 2ユニット       | 利用定員数計             | 18人 |
| 職員数   | 24人         | 常勤5人, 非常勤19人, 常勤換算 | 9,6 |

### (2) 建物概要

|      |             |  |  |
|------|-------------|--|--|
| 建物構造 | 鉄筋コンクリート造り  |  |  |
|      | 2階建ての1~2階部分 |  |  |

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

|                 |                 |            |         |        |
|-----------------|-----------------|------------|---------|--------|
| 家賃(平均月額)        | 39,000円         | その他の経費(月額) | 21,000円 |        |
| 敷金              | 有(300,000円) 無   |            |         |        |
| 保証金の有無(入居一時金含む) | 有( )<br>無       | 有りの場合償却の有無 | 有 / 無   |        |
| 食材料費            | 朝食              | 300円       | 昼食      | 500円   |
|                 | 夕食              | 500円       | おやつ     | 費用負担無し |
|                 | または1日当たり 1,300円 |            |         |        |

### (4) 利用者の概要 (6月1日現在)

|       |        |      |     |    |     |
|-------|--------|------|-----|----|-----|
| 利用者人数 | 18名    | 男性   | 1名  | 女性 | 17名 |
| 要介護1  | 2      | 要介護2 | 9   |    |     |
| 要介護3  | 4      | 要介護4 | 3   |    |     |
| 要介護5  | 要支援2   |      |     |    |     |
| 年齢    | 平均 84歳 | 最低   | 71歳 | 最高 | 96歳 |

### (5) 協力医療機関

|         |                         |
|---------|-------------------------|
| 協力医療機関名 | 藤原内科 嶋谷歯科 竹本整形外科 東浦心療内科 |
|---------|-------------------------|

### 【第三者評価で確認されたこの事業所の特徴】

三田市の旧市街地に位置するホームは近隣に商店街やスーパーがあり、入居者は比較的気軽に外出を楽しむ事ができるとともに、周辺には田園風景も残っており四季の自然の美しさの中で穏かに過ごす時間も大切にしている。ホームに隣接した広場では年間を通じて盆踊り・バーベキュー等の行事を開催し地域住民との交流の場となり、菜園では入居者が四季折々の草花や野菜を育てることで五感刺激や心身の安定に役立っている。医療連携体制加算の導入にて看護師の資格を有する職員を配置し、日々の健康管理を行うとともに医療ニーズへの適切な対応ができるよう医療機関との連携体制も整っている。

### 【重点項目への取組状況】

|      |   |
|------|---|
| 重点項目 | <p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:第三者4)</p> <p>評価結果については共通認識するため、結果を事務所、休憩室に掲示し、また職員一人ひとりのケアの質確保や向上を図るため職員研修会などの機会には改善点を職員全体で話し合っている。運営推進会議で評価結果を報告し、改善点についての説明も行った。</p>   |
|      | <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:第三者4)</p> <p>前回の評価に踏まえ、今回の自己評価はホーム長、管理者、計画作成担当者を中心に職員全体からの意見も聞き、まとめ上げた。</p>   |
| 重点項目 | <p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:第三者4,5,6)</p> <p>運営推進会議は2ヶ月に1回定期的に開催されている。入居者、入居者の家族、民生委員、管理者とともに市担当職員の参加もあり、活発な意見交換がされている。議題も防災に関することやヒヤリハットなど幅広い。主な会議内容は家族への請求書発送時とともに家族会でも報告している。</p>                           |
|      | <p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:第三者7,8)</p> <p>入居者の状態は家族の面会時や電話で伝え、月初めに文書にて本人の様子を報告している。家族会は行事時期に合わせ家族の負担のない形で行われている。苦情相談は家族面会時での対応が多く、早い段階から意見を積極的にくみ取る努力がされている。苦情処理記録の書式も整え、職員間で共通認識し、家族から得られた意見のサービス反映に努めている。</p> |
| 重点項目 | <p>日常生活における地域との連携(関連項目:第三者3)</p> <p>近隣の人の往来が日常的にあり、地域とのふれあいが自然な形で行えている。入居者は老人会等行事に参加し良い関係作りが出ている。ホーム横の菜園と広場で入居者・職員は野菜や花を育てイベントを開催し、地域・家族との交流を図っている。民生委員・ボランティアの協力でお話会・健康体操などのアクティビティがあり口コミ中心で繋がっている。</p>              |

## 2. 第三者評価結果票

| 第三者                | 自己 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | 印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------|----|--|---|---------------------|-----------------------------------|
| <b>. 理念に基づく運営</b>  |    |  |   |                     |                                   |
| <b>1. 理念と共有</b>    |    |  |   |                     |                                   |
| 1                  | 1  | 地域密着型サービスとしての理念<br><br>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている    | 理念内容は地域密着型サービスとしての果たすべき役割を反映した内容となっており、ホーム内でも玄関、食堂、踊り場など各箇所にわかりやすく掲示されている。また来訪者にも目に付きやすいところに掲げることで周知してもらえるようにしている。  |                     |                                   |
| 2                  | 2  | 理念の共有と日々の取り組み<br><br>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる                       | 毎日のミーティングのほか、定期的に行われている内部研修では理念共有の再確認を行い、職員の日々利用者にかかわる際の理念を具体化していく意識をもち取り組んでいる。また、職員休憩室にも「事業所の理念」を掲示し、職員への意識付けも行っている。新人教育時にはベテラン職員がともに常時就き、現場研修において業務の指導の中にも理念理解をも含めた指導を行っている。  |                     |                                   |
| <b>2. 地域との支えあい</b> |    |  |   |                     |                                   |
| 3                  | 5  | 地域とのつきあい<br><br>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 近隣の人の往来が日常的にあり、地域とのふれあいがごく自然な形で行えている。また入居者も地域の老人会等行事に積極的に参加し、よい関係づくりが出来ている。ホームに隣接して菜園と広場があり、入居者、職員は季節の野菜や花を育て、広場では年間を通してイベントを開催し地域、家族との交流を図っている。また、民生委員の協力や地域のボランティアによる週一回のお話会、健康体操など多方面にわたるアクティビティがあり、口コミ中心でつながっている。 |                     |                                   |

| 第三者                          | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | 印<br>(取り組みを<br>期待したい項<br>目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------|----|---|---|-----------------------------|-----------------------------------|
| <b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b> |    |   |   |                             |                                   |
| 4                            | 7  | <p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>                | <p>評価結果については共通認識するため、結果を事務所、休憩室に掲示している。また職員一人ひとりのケアの質確保や向上を図るため職員研修会などの機会には改善点を職員全体で話し合っている。今回の自己評価に関しても職員から意見を聞きまとめ上げている。</p>  |                             |                                   |
| 5                            | 8  | <p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p> | <p>運営推進会議は2ヶ月に1回定期的に開催されている。入居者、入居者の家族、民生委員、管理者とともに市担当職員の参加もあり、活発な意見交換がされている。議題も防災に関することやヒヤリハットなど幅広い。前回の評価結果も会議に提出し、意見や質問を受け、話し合い、改善点の説明を行うなどして、サービスの向上に活かしている。</p>                   |                             |                                   |
| 6                            | 9  | <p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>                     | <p>年間6回の運営推進会議を通してつながりがあり、市へホームの情報を提供しやすい環境が整っているほかに、何かあれば市町担当者と随時連絡を取り、密な関係づくりが行えている。また、今春設立したグループホーム連絡協議会への参加が、市との関わりが増す取り組みとなっている。</p>   |                             |                                   |
| <b>4. 理念を実践するための体制</b>       |    |   |   |                             |                                   |
| 7                            | 14 | <p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>                 | <p>入居者の状態については家族の面会時や随時電話で伝えるとともに、月初めには文書にて本人の様子のほか行事も含めて報告を行っている。金銭管理については少額をホームで預かり、利用に応じて出納帳で報告する以外に月末に請求書で報告している。受診時は家族に連絡の上行き、事後報告も欠かさず行われている。家族会は行事時期に合わせて家族の負担のないよう行われている。</p> |                             |                                   |

| 第三者                | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | 印<br>(取り組みを<br>期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------|----|---|--|-------------------------|-----------------------------------|
| 8                  | 15 | 運営に関する家族等意見の反映<br><br>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                                | 苦情相談に関しては家族の面会時に対応することが多く、早い段階から意見を積極的にくみ取る努力がされている。また、苦情処理記録の書式も整え、職員間で共通認識するとともに、家族から得られた意見をサービスに反映できるようにされている。家族から要望があるときは対応方法も含めて報告している。 |                         |                                   |
| 9                  | 18 | 職員の異動等による影響への配慮<br><br>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 職員はユニットごとに固定し職員と入居者のなじみの関係が保たれている。職員の異動や離職に関しては利用者へのダメージを防ぐため十分対応方法に配慮・工夫をしており、役職者の離職については家族への報告を確実にしている。                                    |                         |                                   |
| <b>5. 人材の育成と支援</b> |    |   |  |                         |                                   |
| 10                 | 19 | 職員を育てる取り組み<br><br>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている              | 内部研修は常勤、非常勤を含めて定期的に行われ出席者も多い。、外部研修は、年間計画の中で位置づけており、事前に案内を職員全員へ回覧している。また一般研修についても出来るだけ受講するように促し、受講報告は内部研修会等の機会に行って、職員間で情報共有している。              |                         |                                   |
| 11                 | 20 | 同業者との交流を通じた向上<br><br>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている    | 今年3月に「三田グループホーム連絡協議会」を設立し、ネットワークづくりがなされ、情報交換・勉強会などを通じてサービスの質向上に活かすための取り組みがされている。   |                         |                                   |

| 第三者   | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | 印<br>(取り組みを<br>期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|---|----|---|---|-------------------------|-----------------------------------|
| <p><b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b></p> <p><b>1.相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b></p> |    |   |   |                         |                                   |
| 12  | 26 | <p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p> | <p>入居前には本人、家族と十分話し合い、ホームの見学を勧めている。また体験宿泊していただくこともでき、安心して入居できるように配慮している。行きつけの美容院・病院なども含め、居室にはなじみのものを持ち込んでいただくなど、今までのなじみの生活を大切に物品になるよう配慮している。</p> |                         |                                   |
| <p><b>2.新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b></p>                                  |    |   |   |                         |                                   |
| 13  | 27 | <p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>                     | <p>入居者を人生の先輩として尊敬するとともにその人らしい暮らしをしていただくために、入居者の生活歴を把握し、個々の力が発揮できるような場面作りに取り組んでいる。入居者を介護される立場におかず、日々の食事作りや掃除など家事の中で職員も学んだり、教えてもらったりする機会がある。</p>  |                         |                                   |
| <p><b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b></p> <p><b>1.一人ひとりの把握</b></p>        |    |   |   |                         |                                   |
| 14  | 33 | <p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>  | <p>入居時に生活歴、趣味などを知り本人の全体像を把握することでその人らしいホームでの暮らしに生かせるよう支援している。また、職員間でも本人の生活に対する思いを共有し支援していくようにしている。</p>   |                         |                                   |

| 第三者                                | 自己 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | 印<br>(取り組みを<br>期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|----|--|---|-------------------------|-----------------------------------|
| <b>2. より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b> |    |  |   |                         |                                   |
| 15                                 | 36 | <p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>     | <p>管理者や計画作成担当者は入居時の本人、家族からの情報で本人のニーズを把握し、入居者主体の計画を作成している。入居者のケアにおいても職員から気付きなど意見を聞きだし、介護計画作成に反映させている。</p>  |                         |                                   |
| 16                                 | 37 | <p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p> | <p>介護計画は3ヶ月に1度定期的に見直しを行っており、入居者の状況変化や家族の希望があった場合は柔軟に対応し見直しを行っている。月に1度サービス担当者会議を開催し、その中でモニタリングを行うなど細かな見直しが行えている。介護計画書も書式変更を行い、よりわかりやすく作成しなおしている。</p> |                         |                                   |
| <b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>           |    |  |   |                         |                                   |
| 17                                 | 39 | <p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>                                   | <p>医療連携体制加算を導入し、看護師の資格をもつ職員を中心に、日々の健康管理や医療機関との連絡調整を行なっている。入居者の希望に応じ、自宅外泊での送迎支援、入院時の面会、職員同行での通院など多機能性を生かした柔軟な支援が行えている。</p>                           |                         |                                   |
| <b>4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>    |    |  |   |                         |                                   |
| 18                                 | 43 | <p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者や家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>                     | <p>心療内科等の定期的な往診で入居者の心身の状態管理を継続している。かかりつけ医への通院希望があれば職員間で通院介助等の支援を行い、サマリーなどでの情報提供や受診状況の把握に努めている。</p>  |                         |                                   |

| 第三者   | 自己 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | 印<br>(取り組みを<br>期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)   |
|---|----|--|---|-------------------------|---|
| 19  | 47 | <p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p> | <p>入居者が重度化した場合に家族の不安を軽減し確かな対応ができるよう、病状に応じた話し合いを重ねていくよう努めている。現在ターミナルまでの受け入れはないが、今後の受け入れについて方針を作成し家族へ説明する為の準備を行っている。</p>                |                         | <p>利用者や家族が安心してサービスを利用できるように、日常の健康管理や急変時に対応するための話し合いも含めターミナルケアに関する研修も行っていくことが望まれる。重度化や終末期に向けたホームの指針を文書化し、家族に説明し同意を得られる事が期待される。</p> |
| <p><b>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b></p> <p><b>1. その人らしい暮らしの支援</b></p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p> |    |  |   |                         |   |
| 20  | 50 | <p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない</p>                            | <p>入居者との関わりの中で本人の誇りを損ねないよう、日常の言葉掛けや排泄時の介助・訪室の際の声かけ等は個々にあった対応を心掛けている。ホーム便りへの入居者の掲載については本人のプライバシーに配慮している。</p>                           |                         |   |
| 21  | 52 | <p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>             | <p>生活のリズムを整える必要がある場合は、ホームの1日の基本の流れに沿った支援を行っているが、入居者の意向も大切に起床の時間・食事のペース・入浴時間等は本人の今までの習慣を把握し、希望にそった支援ができるよう取り組んでいる。</p>                 |                         |   |
| <p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>   |    |  |   |                         |   |
| 22  | 54 | <p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>                 | <p>栄養士が作成した献立を基に食事作りがなされており、調理や盛り付けなど可能な限り入居者とともにやっている。行事や誕生日には入居者の希望を取り入れ献立に反映している。菜園で育てた野菜や近隣からのおすそ分けの食材を活用し、楽しみの時間になるよう配慮している。</p> |                         |   |

| 第三者                           | 自己 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | 印<br>(取り組みを<br>期待したい項<br>目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------|----|--|--|-----------------------------|-----------------------------------|
| 23                            | 57 | 入浴を楽しむことができる支援<br><br>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している   | 一人ひとりゆっくりと寛いで入浴できるよう、状態に沿った介助や見守りの支援を行っている。基本は週2～3回の入浴となっているが、入浴時間は本人の希望や体調に応じて柔軟に支援している。足浴、シャワー浴は随時対応できるよう配慮している。           |                             |                                   |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 |    |  |  |                             |                                   |
| 24                            | 59 | 役割、楽しみごと、気晴らしの支援<br><br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 入居者の生活歴や力量について把握し、掃除・洗濯物たたみ・調理・シーツ交換・ホーム内の花を生けてもらう等、個々ができそうな事を見極め積極的に支援している。ボランティアの協力にて習字・体操・お話会等を実施している。                    |                             |                                   |
| 25                            | 61 | 日常的な外出支援<br><br>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している                   | 年間を通じてドライブや旅行等を実施するとともに、ホーム周辺の川沿いの散歩や買物帰りに喫茶店でお茶を飲む、ホーム横の広場で草花や野菜を育てる等、日々の暮らしの中で自然な形での支援ができています。入居者の身体状況にそって外出の個別対応にも応じています。 |                             |                                   |
| (4) 安心と安全を支える支援               |    |  |  |                             |                                   |
| 26                            | 66 | 鍵をかけないケアの実践<br><br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる          | 玄関やベランダは開錠し、入居者の自由な思いや行動に沿えるよう配慮している。自由な暮らしを支える中で安全面にも配慮し、見守り等の工夫に取り組んでいる。   |                             |                                   |



| 第三者                        | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | 印<br>(取り組みを<br>期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------|----|---|---|-------------------------|-----------------------------------|
| 27                         | 71 | <p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>                                 | <p>消防署との連携にて年に2回の点検・訓練を実施している。職員一人ひとりが災害時に速やかな行動が取れるよう、事業所内研修時に定期的に避難訓練や避難経路の確認等実施している。訓練時は周辺地域に連絡し協力を依頼している。運営推進会議で防災について話し合い協力体制を整えている。災害時に備えた食料品などの物品の備蓄を検討している。</p> |                         |                                   |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 |    |   |   |                         |                                   |
| 28                         | 77 | <p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>                                   | <p>入居者の健康面の把握のために毎回の食事量や水分量をチェックし記録に残している。高齢者が脱水症を来しやすい事を理解し、夜間の水分補給にも配慮している。嚥下の状態に応じて食事形態を工夫し、きざみ食やミキサー食への対応も可能である。</p>  |                         |                                   |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり    |    |   |   |                         |                                   |
| (1) 居心地のよい環境づくり            |    |   |   |                         |                                   |
| 29                         | 81 | <p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>ホーム横に菜園広場を設け、季節の野菜や草花を育て、盆踊りやバーベキュー等季節の行事を実施し、入居者の楽しみとくつろぎのスペースとなっている。ホームは社宅を改築した建物ではあるが、調理室の全面改修・段差の解消・手すりの設置等入居者の状況に応じた工夫が見られる。</p>                                |                         |                                   |

| 第三者 | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | 印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-----|----|---|---|---------------------|-----------------------------------|
| 30  | 83 | <p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>居室は洋室とたたみの部屋があり入居者の意向や身体状況で選択している。各部屋はドアや窓の開閉・エアコン調整等で室内の換気や温度調節に配慮している。居室内は家族や本人の写真・趣味の作品・馴染みの家具を持ち込み、安らぎの空間になるよう取り組んでいる。</p> |                     |                                   |

は、重点項目。